

港区立麻布学校
平成30年度 授業改善推進プラン

教育目標

- 元 気 な 子
- や さ し い 子
- 考 え る 子

学校経営方針（学力向上にかかわる要点）

- ・総合的な学習の時間・生活科を核とした校内研究、学力調査結果を基にした授業改善を行う。
- ・授業のねらいを明確にもって学習状況を正確に見取り、指導と評価と支援が一体化した実践をする。
- ・各学年の発達段階に応じた内容・量の課題を与え、子供が自主的・継続的に過程において学習に取り組めるようにする。

昨年度の成果と課題

- 成果**
- ・総合的な学習の時間・生活科を軸とした校内研究による個に応じた指導の充実。
 - ・地域の人材との交流や施設を活用した体験活動による興味関心の喚起。
- 課題**
- ・自ら課題を見つけ、探究する「学ぶ姿勢」の定着。
 - ・話し合い活動、グループ学習による「表現力」の育成。

本校の授業改善に向けた視点

教育課程編成上の工夫	指導方法・指導体制の工夫	評価活動の工夫	校内における研究や研修の工夫	家庭や地域社会との連携の工夫
<ul style="list-style-type: none"> ○ 週 時 程 の 工 夫 ・ 1 校 時 開 始 前 の 「 朝 の 時 間 」 の 活 用 ・ 3 校 時 開 始 前 の 時 間 の 活 用 ○ 授 業 時 数 の 確 保 ▲ オ リ ン ピ ッ ク ・ パ ラ リ ン ピ ッ ク 教 育 の 推 進 を 行 う 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教 科 ・ 領 域 ・ 単 元 に 応 じ て 、 指 導 方 法 、 指 導 体 制 、 指 導 形 態 を 工 夫 す る ○ 体 験 的 活 動 や 問 題 解 決 的 学 習 の 重 視 ▲ I C T の 意 図 的 ・ 効 果 的 な 活 用 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学 力 テ ス ト の 結 果 の 分 析 と 活 用 ○ 二 期 制 を 実 施 し 、 学 校 生 活 に 余 裕 を 持 た せ 、 授 業 の 充 実 を 図 る ▲ 児 童 の 実 態 に 合 わ せ た 成 績 表 の 作 成 ☆ 特 別 の 教 科 「 道 徳 」 の 評 価 の 在 り 方 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 総 合 的 な 学 習 の 時 間 ・ 生 活 科 に よ る 、 「 わ か る ・ で き る ・ 楽 し む 授 業 つ く り 」 を 実 践 す る ○ 国 際 科 の 研 修 を 講 師 を 招 いて 実 施 し 、 児 童 の 学 習 に 生 か す ○ 六 本 木 ア カ デ ミ ー で の 授 業 、 研 修 会 の 実 施 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地 域 の 特 色 を 生 か し た 施 設 の 活 用 や 人 材 の 活 用 ○ 地 域 の 特 色 を 生 か し た 教 材 の 活 用 ○ 年 間 3 回 の 学 校 公 開 の 実 施 ○ 道 徳 授 業 地 区 公 開 講 座 の 実 施

具 体 的 な 取 組

<ul style="list-style-type: none"> ○ 週 3 回 の 「 ぐ ん ぐ ん タイム 」 の 設 定 ○ 週 2 回 の 「 の び の び タイム 」 の 設 定 ○ 週 2 回 の 「 読 書 タイム 」 の 設 定 ○ 月 2 回 の 土 曜 授 業 日 の 設 定 （ 第 1 ・ 第 3 土 曜 日 ） ▲ 地 域 の 特 色 を 生 か し た オ リ ン ピ ッ ク ・ パ ラ リ ン ピ ッ ク 教 育 を 実 施 す る 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 3 年 生 以 上 の 算 数 に お い て 、 少 人 数 指 導 を 実 施 す る ○ 理 科 の 学 習 に お い て 、 サ イ エ ン ス ア ド バ イ ザ ー と 協 力 し 、 授 業 の 充 実 を 図 る ○ 総 合 的 な 学 習 の 時 間 ・ 生 活 科 の 時 間 に お い て 学 校 内 外 の 施 設 や 外 部 講 師 を 積 極 的 に 活 用 す る ▲ I C T を 生 か し 、 児 童 が 深 い 学 び を 実 感 し 、 意 欲 が 高 ま る よ う に 日 々 改 善 を し て い く 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 二 期 制 に よ る ロ ン グ ス パ ン の 評 価 を 行 う ○ 学 期 末 （ 7 月 ・ 12 月 ） の 小 評 価 に よ る ショ ー ト ス パ ン の 評 価 を 行 う ▲ 児 童 の 実 態 の 応 じ た 、 日 常 的 に 指 導 と 一 体 化 し た 評 価 を 行 う 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 個 別 の 指 導 ・ 支 援 の 充 実 を 図 る 。 ○ 国 際 科 の 研 修 を 行 う ○ 幼 少 中 の 一 貫 教 育 に 向 け て 研 修 を 実 施 す る 。 ▲ 各 教 科 、 領 域 の 授 業 の 場 面 で 、 話 し 合 い 活 動 の 充 実 を 図 る 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 総 合 的 な 学 習 の 時 間 ・ 生 活 科 で 、 地 域 の 施 設 を 訪 問 す る ○ 地 域 の 諸 団 体 と の 交 流 を 通 し 、 郷 土 愛 を 育 む ○ 総 合 的 な 学 習 ・ 生 活 科 の 時 間 に お い て 、 地 域 の 人 材 を 招 き 、 伝 統 文 化 に つ い て 学 ぶ ○ 地 域 、 保 護 者 に 開 か れ た 学 校 （ 学 校 公 開 、 道 徳 授 業 地 区 公 開 講 座 の 実 施 ）
---	--	---	--	--